年間授業計画 新様式

## 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語 科目 論理国語

単位数: 2 単位

 教 科: 国語
 科 目: 論理国語

 対象学年組:第 2 学年 使用教科書:『論理国語』(大修館書店)
 1 組~ 6 組 (大修館書店)

教科 国語 の目標: 言語活動を通して、人間性豊かで、互いの人格を尊重し、国語で他者に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知 識 及 び 技 能】変化の激しいこれからの社会で対応できるような国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】他者を尊重し、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語の持つ価値への認識を深めるとともに、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育てる。

科目 論理国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我

	W-2	領域				4-		det.	配当	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	書	読	評価規準	知	思	悲	時数
	事業: 非常をはいる 復興力 の書館 に確反な時間 ・協守企業の適節や特性、用法及び実起の仕方などを理解 日間を力、特別力、表現力等 ・文章の特殊を踏まえて、内容や構成、論理の展開、教育叙述 (を確似にとう、実施している。 ・文章の特を踏まえて、内容や構成、論理の展開、教育叙述 (で、) (で、) ・文章の内容を踏まえて、自分の意見をもっている。	・ 別選事業 自己の体験に照らしながら評論を扱う。本文に即して活動 するとようできている。 「最適問題」大陸参響と「漢字マイスター 類出漢字地 認3000] 第一字数社 レイートの提出			0	「知識及び接別 ・展介かタスト気で開考室の原子、設備、接続間々どの知識、技能に関する 原列から外えをでき替する。 ・受害利外によけるワークシートや機能の記述内容、定期考査の思考力、判断 り、表現のに関する機能の名を本で評価する。 ・技術というない。 ・技術を一分のである。 ・大きな一分のである。 ・大きな一分のである。 ・大きな一分のである。 ・大きな一分のである。 ・大きな一分のである。 ・大きな一分のである。 ・大きな一分である。 ・大きな一分である。 ・大きな一分である。 ・大きな一分である。 ・大きな一分である。 ・大きな一分である。 ・大きない。 ・大きなない。 ・大きななな	0	0	0	5
	展売 (ミのヴィーナス) 「無限なり注意」 「無限なり注意」 ・高等や機能の構造や特色、用法及び表記の仕力などを理解 し高を参加高速を無います。 【名号力、指数力、異数力等】で構成、施理の展開、要算 を差裂切ともろ、実施している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大変の内容を指定え、自分の意見をもっている。	・施事業 自己の体験に与しながら評論を載み、本文に即して活動 することができている。 - 複数 日本の報告 日本の報告 日本の報告 一本の表 一本の表 レポートの提出 レポートの提出			0	「知識及と対策] ・媒介小タストがび受開考査の漢字、商金、接続到などの知識。技能に関する 前限の得差化で修整する。 [思思力、判断力、現実力等] ・授業的外に2017 5クータンートで覆蓋の記述内容、定開考室の思考力、判断 [までは75年207 5月 7日	0	0	0	8
1	定期考査						0	0		1
学期	第三 科学が生きている」 を開発された。 に関係された。 ・部やで発展の構造や特色、用法及び実施の仕力などを理解 上級を登録高級を起いてか。 【思考力、制御力、実別力等】を構成、論理の調測、要旨叙 を基礎的にとうな、規則に「いる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文集の内容を指定え、自分の意見をもっている。	「海海帯」 10-2 作戦に担らしながら背路を説み、本文に即して活動 することができている。 - 説材 「連付加」大参路番店 「連中マイスター 類出席字数 レポートの提出 レポートの提出			0	「地震と対策制」 ・ 事業のインで、というでは再変の漢字、画像、接続調などの地震、技能に関する ・ 自然の小りを表すで、 に思考り、制御から、大変を対し、一つで、一つで、一つで、一つで、一つで、一つで、一つで、一つで、一つで、一つで	0	0	0	8
	第2: 自立をデデル位する知識」 「他職及文林園」 「他職及文林園」 ・高砂や海線の開意や特色、用油及び表記の仕力などを掲載 」・高砂や海線の構造や特点、 「加速の着砂油海を参加してう。 、「文本の特徴を創まえて、内容で構成、過程の開開、製資設 送金銭回じたらえ、現断にている。 「まない付金を加まえ、自分の意見をもっている。」	・ 所書等。 自己の作弊に思うしながら評論を読み、本文に即して活動 することができている。 - 別域知道人大秘書店「唐字マイスター 頼出唐字熟 - 四域のは「本学教士」 - 一人1台様本の周用等 レポートの提出		0		1 抽痕文字時間 ・薬剤やアネトがで着りません。 ・薬剤やアネトができません。 日間の海泉本で学館する。 日間の海泉本で学館する。 日間の海泉本で学館する。 では、「大田本の東京の海」へ関係のたどか等。定開考室の思考力、物面 「大学化に加からか、人間機等」 ・世襲への取り組みで機能物の信集その内容、グルーブ活動における態度など を終める。 を終める。 を終める。 ・世襲への取り組みで機能物の信集その内容、グルーブ活動における態度など を終める。	0	0	0	7
	定期考査						0	0		1
	様式 コミュニティから見た日本: 「田康及対議」・福からの連絡の報告や特色、開加及び実起の仕方などを理解 「田原力・開助」、東北小場)・ 「屋参力、開助」、東北小場)・ 、文室の特殊を始まえて、内容や構成、論理の展開、教育叙述を描したらえ、実施している。 「社会部のにある。」、本語している。 「大阪の内容を指えな、自分の意見をもっている。	・ 商書家。 自己が体験に思らしながら背輪を譲み、本文に即して活動 することができている。 「最高が国金」大陸参拝。「漢字マイスター 頼出漢字教 部3000] 第一字数社 レポートの後出			0	1 知識及び視別 ・ 原介かラネトを打び間考室の原子、自竜、接続到などの知識、技能に関する を関心の原本では軽さる。 の表現の表現本では軽さる。 ・ 投資制作における。 ・ 投資制作における。 ・ 投資制作における。 ・ 投資制作における。 ・ 投資制作に対し、 ・ 投資制をはおける。 ・ 投資制をはおける ・ 投資制をはおける ・ 投資制をはおける ・ 投資制を ・ とはない。 ・ とはないないない。 ・ とはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	0	0	0	5
	原定: 19からかと対象: 「金融を介格器」の語を含物性、用法及び実起の仕力などを理解 に書かり機能の語をや物性、用法及び実起の仕力などを理解 に思考り、報告、要担か等 ・文章の特殊を創まえて、円在や構成、過程の開開、要旨収 近き値切にとらる、現場している。 ・大変の内容を創まえ、自分の意見をもつている。	・別番季県 住産の体験に関らしながら野藤を渡み、本文に即して活動 するともかできている。 『振瀬田国』大師書版『漢字マイスター 頼出唐字集 部3000』 第一字数社 ・一人1 1指集での周用等	0			「知識及び技術」 ・展介小アストなジ売間等変の漢字、最後、接続到などの知識、技能に関する 原列のが高さて沙勢する。 が設備的に対しています。 ・提供的にはおり、ション・タント・や機能の記述内容、定期等変の思考力、判断 が、表現のに関する機能の最多まで評価する。 「まないたかうう」、現代を当 をおからいます。 をおからいます。 ・の内容、グループ活動における態度など を総合的に判断し昇動する。	0	0	0	8
2 学	定期考査						0	0		1
期	原之 「予用コスプレ」 現象」 ・協助なり指動・ ・協助なの構造・ ・協力の機能や最高にする。 に記憶を参加機能を基立にする。 ・大変の機能を踏立えて、内容で構成、 海型の展開、要旨収 を連切にとらえ、 「おしてに向かう力、人間性等」。 ・文章の付着を指主え、自分の意見をもっている。	・治療事項 自己の体験に担かしながら背輪を彼み、本文に即して活動 することができている。 影響が国達し大戦争器は「漢字マイスター 頼出漢字熱 部3000月 第一字数社 レポートの機出			0	「地震及び接針」 ・場合・ティス・グラ南京の原子、自竜、接続対などの知識、技能に関する 皮型の自身をできまする。 18世界人・機力・原理・クラー・クーを開催の記述中等、定期考査の思考力、判断 力、実現がに関する原理の最大で呼ばする。 ではていからかり、周囲を制 ・で変かり組みや提出物の信集その内容、グループ活動における態度など を給かりに判断し昇信する。	0	0	0	8
	報告:「社会的実在としての言語・値・貨幣」 ・協会で議論の機能の機能を特色、用油及び実起の仕力などを理解 ・協会で経識の機能を特にする。 「提表力、判断力、異型力等」 ・支援の特殊を発生してする。 「存在に助かう力、人間性等」 ・大変の特容を踏まえ、自分の意見をもつている。 ・大変の内容を踏まえ、自分の意見をもつている。	・ 南海事業 自己の体験に思らしたから評論を読み、本文に即して活動 自己の体験に思らしたから評論を読み、本文に即して活動 ・ 変材 「海域四級」大総略書成 『唐中マイスター 頼田博子集 ・ ののの3 第一字形 ・ しかより、 ・ この一般の原用等		0		【物理及び子供報】 「物理及び子供養」 「他の表すないない。 「他の表すないない。 「他の表すないない。 「他の表すないない。」 「他の表すないない。」 「他の表すないない。」 「他の表すないない。」 「他の表すない。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。」 「他のる。 「他の。	0	0	0	5
	定期考査						0	0		1
-	単元   世界は、いま」 【知識及び技能】	・指導事項 自己の体験に照らしながら評論を読み、本文に即して活動				【知識及び技能】 ・漢字小テスト及び定期考査の漢字、語彙、技統詞などの知識、技能に関する 設問の得点率で評価する。	_	_		_
3 学期	・場外の機能の構造や特色、開放及び実起の仕力などを理解 上級を登替高速を見にする。 【思考力、判断力、要取り等】 で変の特徴を整定と、「対容や構成、論理の展開、要旨叙述を遭別にとらえ、理解している。 【学行に出かうり、現性等】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	することができている。 - 説材 - 説材 - 記載 - 一人」は総本の原用等 - 一人」は総本の原用等 - 一人」は総本の原用等			0	原型の形成本で保管する。 原型の形成本で保管する。 ・競技術がにおける。 ・競技術がはおける。 ・競技術がはおける。 ・競技がに称する。 ・規模を ・対している。 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、	0	0	0	5
	原と「グローバリゼーション文化」 「由級なび場合」 「由級なが最かの報告や特に、用法及び実起の仕方などを理解 上のでは、一般など、一般など、一般など、 は、 日本のでは 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので	・ 治療事項 自己の体験に対したがら評論を彼み、本文に即して活動 することができている。 下級が国話」大陸参拝。「漢字マイスター 頼出漢字巻 部3000] 第一字巻社 レポートの後出	0			「知識及び時間」 ・順介小マネトがご用考査の順子、設備、接続到などの知識、技能に関する を関心の発表では発性であった。 ・設備的が見まれては発性であった。 ・投資制作における。プロージャートや機能の記述内容、定期考査の思考力、判断 が表現がに対すると間の発表で子部まする。 「学びになからう)、現代性別 ・ではないないる。 ・のは、対している。 ・のは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0	0	0	6
	定期考査						0	0		1
										合計 70
			L_	<u> </u>	<u> </u>					